

令和5年度補正予算「品目団体輸出力強化緊急支援事業」 事業実施状況報告書
(事業番号4-113)

【事業実施者名：一般社団法人日本青果物輸出促進協議会（会員名：山形県果実等生産出荷安定協議会）

(1) 事業内容：台湾における山形県産秋果実「ラ・フランス」、「りんご」の販売促進事業

(2) 実施期間：2024年12月14日～15日

(3) 開催店舗：Mia C'bon 大葉高島屋店、高雄義享店 計2店舗

(4) 実施内容：台湾で山形県の特産品である「ラ・フランス」の新たな需要開拓と本県の輸出重点品目である「りんご」のさらなる拡大を目指し、販促資材およびマネキンを活用した試食宣伝会を実施した。
また、各品目とも新たに2玉入りのオリジナルトレーを作成して販売した。
なお、開催場所は台湾の二大都市である台北と高雄の高級スーパーMia C'bonでの開催となった。

(5) 輸出数量：下記表のとおり

品目	量目	規格	数量(箱)
ラ・フランス	5kg	18玉バラ	420
ふじ	10kg	26～40玉	1,188

＜試食宣伝会の様子＞



(6) 活動時の効果：

- ・「ラ・フランス」は認知度が未だ低いものの、試食後は購入されるお客様が多く好評であった。
- ・「りんご」は青森県産が主流となっているなか、本県産の食味重視した販売展開を拡大し好評であった。
試食品種は中生種「シナノスイート」であり、産地においてスマートフレッシュを活用した輸出を行っているため、食感も食味もほぼ変化なく、品質評価も高かった。
- ・販売店ではお買い求めしやすいよう、オリジナルの2玉入りパックを作成し販売PRを実施した。

(7) まとめ：

ア. 事業実施実績

- ・目標金額：ラ・フランス1,000千円、りんご86,000千円
- ・販売金額：ラ・フランス1,075千円、りんご105,000千円
- ・成果見込み：ラ・フランス108%、りんご122%

イ. 検証結果

- ・ラ・フランスは“食べ頃”を根気強く伝えていくことが重要であり、継続したPRが必要であると感じた。
また、加工品等との併売により競合西洋梨と区別した販売確立を目指していく必要がある。
- ・りんごは徐々に本県産の知名度が向上しており、青森県産とは違った食味特徴をPRし、需要拡大をはかっていく必要がある。

ウ. 次年度に向けて

- ・本県産のバラエティ豊富な秋果実としてラ・フランス、りんごの他、シャインマスカットや柿等も含めたPR活動を検討する。
- ・店頭での試食宣伝会に加え、SNSやインフルエンサーを活用した販売PRを検討する。
- ・台湾への輸出は検疫条件が厳しく、産地の輸出産地づくりが重要であるため、海外での安定売場を確保し、産地誘導をはかっていく。